

国内最大級の“ビッグエアパーク”を核に、世界に誇るエクストリームスポーツの聖地へ ～茨城県境町が目指すスポーツを核としたまちづくり～

<目標>

計画期間：～令和11年3月31日



“ビッグエアパーク”を軸に「スポーツ移住促進」・「交流人口拡大」・「健康増進」等を実現！

- ①【移住定住の促進】 社会増減数：272人増（令和6年度） → **820人増**（累積・令和7年度～令和10年度）
- ②【交流人口の拡大】 交流人口：約85万人（令和6年度） → **約390万人**（累積・令和7年度～令和10年度）
- ③【健康増進】 ビッグエアパーク 延べ利用者数：約10,000人（累計・令和8年度～令和10年度）

<PRポイント>

●冬季オリンピック種目として採用されているスノーボード・ビッグエア等が通年実施可能な、国内最大級で世界レベルの常設ビッグエアパークを整備

- ①「わざわざ行きたくなる」町のシンボルとして、人々の文化交流拠点と情報発信の場
- ② アスリート育成環境整備 ⇒ **移住** / 住民向け体験機会創出 ⇒ **健康増進**
- ③「エクストリームスポーツの聖地化」横ノリ系スポーツに特化した集客・産業振興



▲整備中のビッグエアパーク



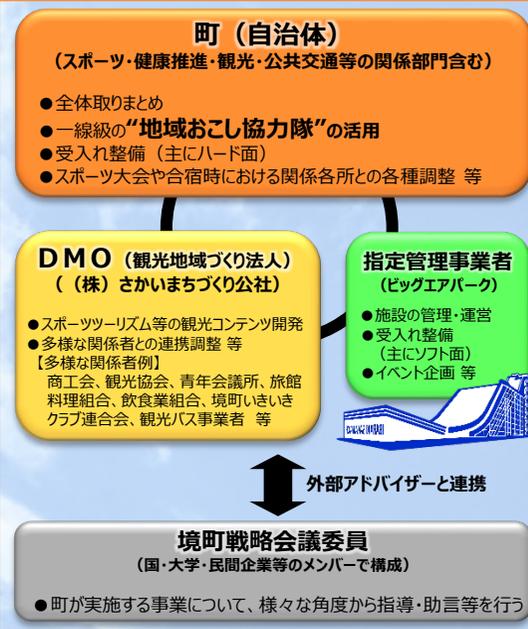
▲完成イメージ

<現状・課題>

- 平成7年をピークに減少が続いていた人口が、**スポーツを含めた様々な移住定住施策**を実施した結果、令和7年4月1日現在人口が令和6年4月1日を起点とした人口増減において**67人の人口増を達成**し、平成29年度以来**7年ぶりの人口増**となった。
- 人口増加と経済活性化の好循環を持続させ、地域住民の健康増進を図るなど当町の**安定的な成長**に繋げるために、**行政だけでなく地域住民や民間事業者等が一体**となり、**スポーツが持つ価値の最大化**を図る必要がある。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<総合的な取組内容>

1

施設整備

- プロ（競技者等）の視点で世界レベルのビッグエアパークを整備し、町の新たなシンボルを創出
- 初心者からプロレベルまで多くの方が利用可能な異なる3つのジャンプ台
- 国の交付金を活用



2

競技普及・国際大会等招致

- 一線級の地域おこし協力隊を活用した体験会やスクールを開催
- 競技団体と連携し国際大会やスポーツ合宿等を誘致
- 横ノリ系スポーツ施設との連携
- 思わず写真撮影やSNSに投稿したくなるような参加型の仕掛けを導入



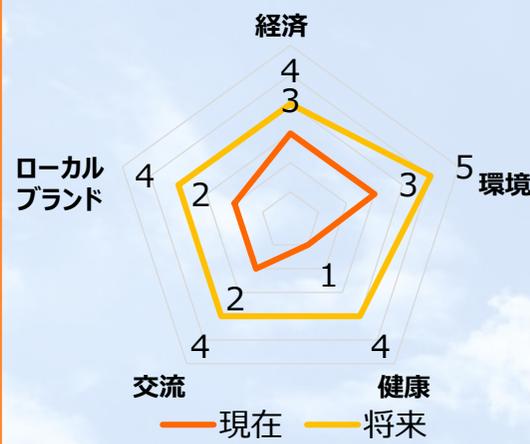
3

スポーツを核としたまちづくり

- スポーツ移住の促進
- 健康増進
- 交流人口の拡大
- 地域経済の活性化

- 世界へ羽ばたく選手の育成・輩出
- 世界に誇るエクストリームスポーツの聖地へ！

<セルフチェックシート>



【フォローアップ欄】 令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号